

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【社会（地図）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では、地図記号やさくいんの使い方など、地図帳の構成要素を解説するとともに、歴史・公民的分野で活用できる資料例を示している。</p> <p>また、地理的分野の教科書の構成に沿って「世界」と「日本」に分けて構成されており、巻末には授業で活用できる統計資料も多数掲載されるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>P4～6</p> <p>P166～175</p>
	<p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、世界の各州・日本の各地方には「基本資料」を世界地図には「注目したい記号」を示すなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「テーマ資料」を掲載したり他分野との関連を図ったりするなどの工夫が見られる。</p>	<p>P93、P53</p> <p>P104</p>
	<p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、検索ページは項目ごとにまとめ、索引性を高めるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、巻頭にSDGsの特集ページが設けられたり、日本の現状と課題に関する資料が多く掲載されたりしており、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>P186</p> <p>P7～8</p> <p>P151～152</p>
	<p>(4) 地図帳の適切な活用方法を理解する力を身に付けるために、「基本資料」や「テーマ資料」の中にキャラクターを登場させ、読み取る視点を与える問いを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、各資料から事象間の因果関係を読み取る力を身に付けるために、「地域のことを知るための基礎となる『鳥瞰図』『一般図』→地域の概観を読み取れる『基本資料』→追究学習に役立つ『テーマ資料』」の流れで資料が構成されるなどの工夫が見られる。</p>	<p>P55～56</p> <p>P49～58</p>

発行者	総 評	備 考
46 帝国書院	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では、地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、統計、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方を示している。</p>	P4～7
	<p>また、地理的分野の学習にあわせて、世界は州別に、日本は地方ごとに構成されており、地域の特色が適切に理解できる資料も多数掲載されるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>	P63～64
	<p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地形図の見方を身に付けたり、日本と世界の位置関係が比較できるページを掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、SDG s の観点に基づいた資料や縮尺が統一した資料図を掲載するなどの工夫が見られる。</p>	P8 P67 P13～14 P87
	<p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、手話による地名の表現を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、地図帳の大判化により、地域全体を見やすくし特色を捉えやすくしたり、修学旅行や校外学習等でそのまま活用できたりするような工夫が見られる。</p> <p>(4) 地図帳の適切な活用方法を理解する力を身に付けるために、地図帳の見開き 1 ページに問いを示した「地図活用」を設け、多くの情報から読み取る視点を与えるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、各資料から事象間の因果関係を読み取る力を身に付けるために、「地域のことを知るための基礎となる『一般図』→地域の景色や地形の様子が読み取れる『鳥瞰図』→地域の特徴をつかめる『資料図』」の流れで資料が構成されるなどの工夫が見られる。</p>	P186 P103～104 P45 P46～53